

常警文藝

初秋 警陽吟社

水天に境界はなし今朝の秋
初秋の襟かき合す遊女かな
拭きぬいた柱光るや今朝の
今朝の秋木にけうときは何
の鳥 全
今朝の秋旗亭に知るや酒の
味 一夢
常に見る山なつかしむ今朝
の秋 全
温泉の噂さ窓に聞きよし今
朝の秋 峯雪
初秋や道々眼立つ草の露 全
沙高のるの洲の草や今朝の
秋 冬全
湖に空の高う澄みけり今朝
秋に 全
きりぎりす

小節の月影澄めりきりぎり
す 一醉
きりぎりす水澄む里となり
にけり 全
客の夜は更けけり籠のきり
ぎりす 文狂
京を出て初の旅寝やきりぎ
りす 全
下町や讀賣り去つてきりぎ
りす 一夢
安宿の行燈暗しきりぎりす 全
大土間や瓜のかけなるきり
ぎりす 峯雪
きりぎりす厨にのそり
啼く 全
きりぎりす母老いて只の夜
なりけり 冬全
きりぎりす閑の疊は幾星霜 全

開設

御料理 大村や
那役所横通

旅館 大村屋
平町二丁目
(電話一七五番)

和漆器漆屋井久和

漆器店

平町一丁目
電話四〇五番

山古印醬油



美味 經濟

鹽屋本店
電話二七番

TRADE MARK NIPPON OPIONE

レコード

ハリエン	ト印	両面	.80
ホビコ	キ印	同	.90
シマ	メ印	同	1.20
ワツフ	バジ	同	1.20
ワツフ	バジ	同	1.20

青沼醫院
醫學士青沼淡夫
電話四〇三番

草花種子入荷

横濱植木會社特撰

一袋拾錢

青沼醫院
電話四〇三番

式株買中値

電話に金融致し

銘柄	拂込	時價
警備銀行	五〇〇	五三、五
平銀行	五〇〇	六八、〇
警備銀行	一一、五	一〇、五
警備銀行	五〇、〇	四〇、〇
警備銀行	三〇、〇	二七、〇
田村實業	一一、五	一一、五
四倉銀行	一七、五	一七、五
農工銀行	二〇、〇	二四、五
同新	一五、〇	一八、八
同新	五〇、〇	五五、〇
同新	一一、五	一六、〇
同新	一一、五	九、八
同新	五〇、〇	三七、五
同新	二五、〇	一七、五
只見川電	一一、五	七、〇
植田水電	一一、五	一五、五
好問水電	一一、五	一三、〇
警備建物	一一、五	五、〇
警備製菓	二〇、〇	四、〇
平信託	五〇、〇	二五、〇
警備製菓	一一、五	一三、五
植田物産	三〇、〇	二六、〇
平製水	二五、〇	二〇、〇
好問軌道	五〇、〇	三〇、〇
入山新	三三、五	一七、〇
小田炭礦	二五、〇	一五、〇
警備炭礦	五〇、〇	四一、〇
同新	二二、五	一八、〇
警備セマン	五〇、〇	六四、五
同新	三五、〇	四、三
平運送	一一、五	八、〇

平町田町 電話三三三番
丸登株式店
川添房二郎

常警新聞

定一部金武銭 廣五號十二休 (日曜大祭)
價郵税五厘 告字詰一行 (祝日ノ翌) 印刷所本社専屬 陽十一

發行編輯人 川崎文治
發行所 福島縣石城郡平町長崎町卅五番地
常警毎日新聞社

刊夕日四月九

隨筆

貯蓄の強要
長橋野人

現政府殊に若槻内相が現に大いに強要しつつある勤儉貯蓄奮闘力行等の總べてはわれ等に反對の主張を爲し能はざらしめる道徳である

否われ等は若槻内相に依つて始めて成程と思はせらるゝものでなく、如何なる市井の輩より聞くも是れを社會組織少くとも今日の様に私有財産制度の組織に於ては是れ等の實行は處世の上

に絶対に真理である

而しながら反面より見る時は現内閣は物事の根本を忘れた主張をなすものはない、國民生活の内容を豊富ならしむべき産業政策を確立せずして無産者に貯蓄を勸説するが如き、其主張は悉く物の核心に觸れず下流の河清をのみ望んで居る

月收僅かに數十圓にして七八名の家族を正直に扶養する地方人が此の上にも貯蓄を勧めらるゝに同情しない譯に行かない、強ひらるゝ者の悲哀それは人世の非常なる撞着である

強ひらるゝ者の悲哀は、我

國に於て果して何時迄繼續すべきであらうかわれ等は自ら窮行せず且つ國民生活を安定ならしむべき政治の根本を問却して行はるゝ時代に於て、幸じて生存を持續しつつある貧乏人が尙ほ且つ是れを強ひらるゝの現状を見ては甚だ國家の爲めに遺憾としなければならぬ

今日の思想は説者徒らに説に忠實にして身を以て自ら範を示すの少きに其の混沌の動機を造りつつあるを悲しまねばならぬ、強ひらるゝ者の悲哀をこに無限の皮肉と撞着がある、

各地に流行する 嗜眠病を警戒せよ

石城地方は殊に危険

市原醫師の豫防談

各地に蔓延しつつある嗜眠病(一名眠り病)に關し炭礦を中心として人事の往復最も頻繁な石城地方には警戒を怠る事が出来ぬと云ふので特に縣衛生課より

平署に 對し豫防上

に就いての嚴重な通牒も來て居るが同疫に關し磐城病院長市原卯太郎氏は語る「病原菌は未だ明らかでないが傳染力は極めて強く多くは患者の咳嗽等からうつるのである、病状としては何等の前提症候なく悪感から頭痛

發熱を 爲し間もなく嗜眠の状態を呈して他から

現在の繭高値は疑問

何時迄続くか

春期の出廻り期に於て案外安かつた繭高が夏秋蚕期に入つて、にはかに騰貴し一貫目十圓以上となり一躍春蚕の挽回されるが如く觀察されて居るが現在の糸價一千九百圓が居座るとしても十圓以上の繭値で買入れては大變なおカゲもなく又二千圓の糸價では人絹の問題なども考へられ各製糸家も相當警戒を加ふるから夏秋蚕の中出廻りの多い晩秋蚕の出廻り期には多少の低落を示すかも知れぬとは某養蚕家の語る處である

学校の連絡

保護會協議

家庭と學校との眞の連絡を求め學用品の統一を期さん目的を以て計劃された平町兒童保護會は九月一日か



家庭 眠れぬ人に

眠れぬ人に 生ネギの効能

神經衰弱から來る不眠症にかつて居られる方には生ネギをおすすめいたします

自働車の 營業者續出

相互の融和を

石城郡内に於ける自働車營業者平署管内の十台を始め

石城郡で豫選する 體育大會の参加選手

十四日磐中運動場にて 競技種目は十番

石城郡にては縣聯合青年團體育大會に参加すべき選手を豫選せんが爲め來る十四日正午から磐中新グラウンドにて開催する事と決定した

江名漁獲高 十餘萬圓減少

船二十五隻にして魚獲高廿五萬圓に達し昨年同期の約卅七萬に較べると十餘萬圓の減少を見て居るがこれは

昨年より價格の低落したのみならず主なる原因は潮流これを食へますと二三日前おそくて五六日でもよく眠れるやうになります。若し、それでもなほならない程重症でしたら、朝五時頃戸外に出で卅分位はだしてお歩きになればキント治ほります、生ネギは新しいもの、皮をむき、約三寸ばかりに切りましてミンをつけて

不平受付

投書歓迎

夜谷口樓の前で自轉車に乗つた人と乗らぬ人が話をしながら來ましたから左へ避けました處が其人達もわざと云ふ程叩き笑ひながら行き過ぎました、ヒドイ人達と思ひますが若し此後こんな事があつた時に警察署では相當に取締つて下さるでせうか、(不平女)

稼業が辛い

平署に保護願

山形縣北村山郡生れ中川ミツヨ(三)は女中に世話するとして石城郡湯本町飲食店吉野屋の酌婦として二百圓にて賣飛ばされ稼業が辛いと本日午前四時頃主家を逃げ出し平署に保護を願ひ出た

不平受付

投書歓迎

伊藤平署長の答 自轉車に乗つて居る婦人に悪戯をするなどは甚だ怪しからぬ事ですから若し名前を御承知でしたら當署迄お知らせ下さい

常磐片々

市原醫師の談に依ると嗜眠病は四民平等に來るかも知れぬから注意を要すと

石城郡桑園調査員數決定

而して調査員の顔ぶれが決定しないのは調査員を調査して居る爲めだといふ

平地方に自働車大流行

餘り増わすぎてアベコペに擔いで呉れなんて云やじめ

桑園基本調査の 調査員 配當數決定した

桑園整理改良の一資料 近く縣から任命

石城郡に於ける桑園基本調査に關しては既記の如く養蠶經營の改善及び生産能率増進の爲めに行ふものであつて桑園整理改良と云ふに喫緊重要な施設である爲め意思鞏固にして且つ其地方の事情に精通し公共的精神に富む人を以て調査に當らしむべく縣より囑託する事となるのであるが郡内各町村の調査員配當數は左の如くである

- 泉四、渡邊四、植田六、山田八、錦六、窪田四、上遠野九、入遠野一、川部五、田人組合一、平三、飯野三、夏井六、高久五、豊間三、江名三、鹿島三、小名濱三、玉川三、磐崎五、内郷三、好間四、赤井六、永戸組合一、三、三坂同一、神谷六、草野九、大浦八、四、倉四、大野一四、平窪六、下小川組合八、川前七、

平署の警戒

平町にはコソ泥各處に出没する

農 民 端 極

石城郡内郷村大 宇白水遠藤未吉 氏は今回縣農會

に現下農村の窮狀を訴へその結果に就いての意見を寄せたがそれに依ると平町を中心として同地方の農村は極度に疲憊し收支相償はざる農民を嫌つて他に轉職するもの非常に多くなつたばかりか實際問題とし

て今春の田植期に際し平町の地主で小作者を失ひそれが爲め無任付田地が出来ようとしたのを小作者を全免し辛うじて無任付を免れたと云ふ事例を挙げ農民は自暴自棄に陥つた結果一般に農家は田畑の耕作は自家に必要な米穀を取る丈に止めよ

小作者は可成耕作せざることに他は職を求めて之が収入の補充をなせよと云ふが如き叫びを發してゐるこのことであるがこれは最も極端なことであるかこれは如き現状にありとせばこれは看過出来ぬ國家の大問題である

の關係で不漁を見た爲めである